

【別紙様式】

静岡市は、新型コロナウイルス感染症への対応として、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を活用し、制度要綱に定める交付対象事業の要件「新型コロナウイルスの感染拡大の防止及び感染拡大の影響を受けている地域経済や住民生活の支援を通じた地方創生に資する事業」に該当する以下の事業を実施します。

事業名	地方独立行政法人静岡市立静岡病院運営費補助金		
総事業費 (千円)	320,000千円	交付金関連事業費 (交付対象経費) (千円)	320,000千円
事業概要	<p>①目的 コロナ禍において光熱費高騰による影響を受けている地方独立行政法人静岡市立静岡病院に対して価格高騰影響分を財政支援することで、地域医療を提供している病院の機能を維持することを目的とする。(医療機関に対する物価高騰対策支援)</p> <p>②交付金を充当する経費・算定根拠 光熱水費(電気) 予算不足見込額: 220,000千円 光熱水費(ガス) 予算不足見込額: 100,000千円</p> <p>③交付対象 1) 交付対象者 地方独立行政法人静岡市立静岡病院</p> <p>2) 交付対象者の選定理由・選定方法 静岡市立静岡病院は、市内の地域医療の中核を担っている地方独立行政法人病院であるが、今般のコロナ禍における光熱費高騰が病院の大きな負担増となっている。静岡市立静岡病院は、県内唯一の第一種感染症指定医療機関として新型コロナウイルス感染症に対応し、また心臓血管疾患や救急医療等の高度急性期医療を担う医療機関であり、病院の医療機能縮小は静岡市民の生命・健康に大きな影響を及ぼすこととなる。そこで、地域医療の中核を担う病院の診療機能を維持し、静岡市民の生活を守るため、静岡市立静岡病院を交付対象者として、補助金を交付する。</p> <p>④期待される効果 新型コロナウイルス感染症の影響下においても、静岡市立静岡病院の医療機能が維持され、静岡市民の生命・健康が守られる。</p>		
新型コロナウイルス感染症への対応との関係	<p>地方独立行政法人静岡市立静岡病院は、新型コロナ重点医療機関に指定されており、市内の新型コロナ中等症・重症患者を中心に患者の受入・治療を実施している。そのような中、エネルギー価格等の高騰により、令和4年度の光熱費(電気・ガス)が、決算見込で電気料金220,000千円増(予算対比223.7%)、ガス料金100,000千円(予算対比170.5%)となり、大きな負担増となっている。</p> <p>地方独立行政法人病院事業のエネルギー価格の高騰分を財政支援し、病院の医療機能の維持を支援する本事業は、新型コロナウイルスの感染症への対応や地域医療の維持など市民生活に資するものであるため、医療機関に対する物価高騰対策支援として地方創生臨時交付金を活用することが妥当である。</p>		